

碩 心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
 神奈川 碩心会 発行

59年2月現在 会員数
 返子地区 147名
 葉山地区 294名
 大船地区 66名
 (合計) (507名)

59年2月号 (139号)
 発行者 根岸岳萃
 編集 村愛岳

海に向って

諏訪支部 井沢 鈴風

私が詩吟をはじめから、もう十年がたちました。それは、五人の子供達もそれぞれ結婚して、落ちついた日々を過していた頃でした。早いものですね。

私が思うには、詩吟はなんといってもまづ声だと思えます。それから味合い……。私はその声が悪く、高音が出ないで悩んでおりました。ところが五・六年前のある日、松井先生が我が家に見えられ、その時に、「こんな近くに海があるのだから、海岸へ出て大きな声を出して練習しなさい」と言って下さいました。それから毎夕のように海に向ってお稽古をしました。おかげ様でこの頃は少しづつ声が出るようになり、ありがたく思っております。
 これからもよろしく、皆様の御指導を心からお願ひいたします。

心の支え

桜山B支部 大場 芳山

私は生来、声を出すことは駄目と決めていました。いろいろの会に出席して何も出

来ない佗しき、そんな時ふとお友達にすめられるままに、子供を通して存じあげている広瀬先生の許に入門させていただきました。

心易さもあり、詩吟は心を豊かにし、或いは、つれづれのなぐさめにもなり、とかく沈みがちの私を明るく楽ませてくれます。それに加えて先生のお人柄に、教室は和気藹々として皆よい方々ばかりです。それでも最初の頃は、自分の番が迫ると、どきどき声ふるえて、何度となく失望いたしました。

声はゴムを延ばすように少しづつ出てくるからと励まされ、私は人に聞かせるためではなく、自分の心の支えとして勉強しております。

知らぬまに幾度かお免状をいただき、今では何よりの楽しみに感謝しております。この喜びを一人でも多くの方々に知っていただきたく、私もお友達をお誘ひして共に喜び合っております。

◎ 準師範認許

おめでとうございます

沼田義風 清水耀風
 金指萌風 田上洲風

県本部主催

◎ 高段者審査会

(七・八段)

とき・59年2月26日(日)9時より

ところ・平塚農業会館

(皆伝以上)

とき・59年3月4日(日)9時より

ところ・平塚農業会館

右審査に合格された方はすぐに許証料を納入して下さい。

◇なるべく支部毎にまとめて下さい。

◇高令者は免除になります。

◇葉山地区の方は中村幸岳宅まで

◇逗子・大船地区の方は広瀬翔風宅まで

◇七・八段……四千元

◇皆伝……二万円

◇九・十段……五千元

傾心会

◎ 春期審査会

とき・59年3月18日(日)10時より

ところ・逗子図書館ホール

◇審査料(六〇〇円)は当日迄に許証部へ

第10回全国選抜者吟道大会

神奈川・静岡地区

予選会実施要項

標記の件地区予選会の会場日時が左記の通り決定いたしましたので御通知申し上げます。出吟者厳選の上、お申込み下さい。

一地区 神奈川・静岡

二日時 昭和59年4月22日(日)9時より受付

三会場 平塚農業会館

四出場資格 所属認可団体の長の推薦による

五出場の資格 中伝以上

六五吟題 新教本一・二巻の中より絶句一題

七六審査方法 総本部委嘱による審査員にて総本部審査規定により行い

八七者予選通過 予選当日終了後会場にて発表、予選通過者には予選通過証授与

九八者予選通過 予選会出吟料は無料

十九者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

十一者予選通過 予選会出吟料は無料

十二者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

十三者予選通過 予選会出吟料は無料

十四者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

十五者予選通過 予選会出吟料は無料

十六者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

十七者予選通過 予選会出吟料は無料

十八者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

十九者予選通過 予選会出吟料は無料

二十者予選通過 予選通過者には予選通過証授与

第86回全国吟道大会参加

宗範墓参吟行会

右大会が今年長野にて行われる事になり、恒例の県本部主催の参加吟行会が左記の通り行われます。特に今回は宗範の墓参を兼ねての参加です。多数御参加下さいませ。

(日時) 59年10月13(金)14(土)15(日)二泊三日

第一日 相模湖II諏訪II岳風記念館II戸倉

上山田温泉泊

第二日 86回吟道大会参加II湯田中温泉泊

志賀高原II草津II鬼押出しII中軽

井沢II松代町II小諸懐古園II高崎

第三日 II練馬ICII首都高速・第3京浜

・東名經由II各地解散

(会費) 四万三千元(出吟料含む積立方式)

(申込締切) 二月二十日

(申込先) 支部毎にまとめて加藤岳相先生迄

県本部設立30周年記念特別企画

中国友好の旅

(北京・成都・西安・上海)

(日時) 59年9月1日～8日まで

(旅行代金) 三十三万円(詳細は加藤先生迄)

逗子A支部忘年会

石渡啓風

街の通りも歳末風景にいろどられ、流れる音楽のメロデーに行き交う人々の姿も何となく忙しそうに見える12月15日の黄昏時、今夕の仕度の為、まず女性達が集り始めました。本年は思考をかえて女性達が当夜の御馳走を腕によりをかけ持ちよる事になったからです。お料理が色彩よく並べ終った六時半から納吟の儀式です。根岸岳幸先生の、一年間のねぎらいと今後の傾心会の発展、吟友諸氏の健康と融和の御挨拶に始まり、全員立姿で一吟終れば拍子、なんとなく厳肅な気分が漂います。順序よく吟ずる中、千葉劔岳先生より、本日の吟は特に素晴らしいとの賞賛の言葉がありました。納吟が終りビールの栓がぬかれ、声高らかに乾杯の音頭となり、忘年会の始まりです。千葉劔岳先生の今流行のささん花の宿を皮切りに、松井正山さんの名司会者登場、岸壁の母を歌えば踊りが、星影のワルツが出来ればダンスが出て、数組がペアを組み、民謡が出来ればヤッシーマカシヨールと全く役者が揃っています。その中メダカの兄弟に振りをつけ、大勢で合唱、和気藹々の

中に賑やかに盛り上がり、逗子A支部ならではと思えました。根岸会長の伊豆下田の唐人お吉のこわ色を使つての物語りは仲々の芸達人ぶりでした。

非常によい雰囲気うちに九時半となり規律を守つてお開きとなり、良いお年をの合言葉に、来年の飛躍を誓い終りました。

初吟会によせて

吟の思い出

唐木山支部 広田 功泉

立春を過ぎたとはいえ、今年は特に寒さきびしい日の続く今日この頃です。

過日、ビーチセンターでの傾心会初吟会の余興の席で、全く思いがけず、中村愛岳先生と「浪花恋しぐれ」をデュエットしました。先生は素敵な声で感情たつぷりに、聞かせどころのセリフもバッチリ、又の機会があったらぜひ一緒に歌わせていたければと思つています。併せて吟の方もよろしく願ひいたします。

吟：私が詩吟を始めたのは、昭和三十九年の二月、ちょうど今から二十年前、小矢部吟道会に入会しました。その頃自分は若かったので詩吟の意味など何も分らず、歌謡曲を習うつもりで入会し吟じたものでし

た。その時はじめて教わつた吟は「九月十日」でした。そしてその年の秋、久里浜の自衛隊の大講堂で初段の査定を受けました。その時の情景はいまでも脳裏にやきついてきます。しかし一年後、都合で退会してしまいました。今になって思うと、あのまま続けていれば、キャリア20年のベテラン？になつてゐるところなのに…なんて思う時もあります。

其の後唐木山支部に入会して、又吟道に精進するようになりました。寺脇先生はじめ皆さんなごやかに毎週おけいこに励んでおります。今後共よろしく御指導の程お願いいたします。最後に今年の抱負をシェアしてひと言。
ベストをつくしてチョッキリがんばります。

訃報

堀内支部B組の長野淑風さんが59年1月1日永眠されました。詩吟・詩舞にと活躍、秋の文化祭での華麗な舞姿が最後となり私達の脳裏に深く刻みこまれることでしょう。御冥福を心からお祈りいたします。

三日はや 旅立つ友の舞扇
桂風

碩心会 59年初吟会会計報告

(59.116 於逗子京急ビーチセンター)

収入の部			支出の部		
摘要	金額	備考	摘要	金額	備考
会費	58,000	2,900×200	会場借上料	18,000	
指導者会より寄付	25,000		持込料	22,000	ビーチセンター関係
祝儀	20,000	小林紫風先生 上山口沼田龍山様 逗子A金指萌風様	酒1本追加付	3,500	
あきびん代	3,050		心井	7,000	
及び値引			当	26,130	1,300×201
本部分			つ	60,300	300×201
本会補助	61,000		み	12,000	
計	689,050		か	32,350	110本
			ル	3,600	2本
			一級酒1升びん	42,210	201本
			1合びん	18,090	201本
			伍	800	
			コ	7,500	
			景	2,000	
			看	5,800	
			板	3,000	
			名	5,380	打合せ2回
			札	7,350	会場費及茶菓代
			礼	1,200	
			議	2,170	紙祝儀袋、封筒
			費	1,500	医薬品リボン他
			代	10,000	
			車		
			代		
			費		
			代		
			茶		
			代		
			代		
			計	689,050	

現品寄付

金子商店より清酒1本

59.2.1 以上の通り報告致します。

担当支部代表 逗子A 渡辺秀風 ① 企画部長 千葉香岳 ①
真澄 森晴山 ① 企画副部長 村田澁風 ①

(支部長変更)
大船B支部長森田曉岳を森田嶺風に
(入会)
608 松井タケ江 葉山町堀内二二〇
(諏訪) (電)〇四六八一七五―二五四四
(退会)
35 長野淑風(堀内B)死亡
(住所・電話変更)
121 益子順風 横須賀市秋谷二一七一―一五
(電)〇四六八一五六―一五二七四
187 小森香風 横須賀市大津三一四〇
(電)〇四六八一三六―二三九〇
(住所表示変更)
313 菊地超山 横須賀市秋谷二一六一―二
314 村田章 " " 一一八一―一〇
311 小池恒泉 " " 二一三一―一三
322 原口修泉 " " 二一六一―一四
395 高橋清治 " " 芦名二一三―一
453 高橋敬次 " " 二一四―一三
561 村田昌子 " " 秋谷一一八一―一〇
575 村田芳子 " " " "
里の我が家から、海辺の加藤圭岳先生宅を訪ねると、風景は一変する。白波たつ紺青の海の向うには富士・江の島・箱根の連山・大島が朝日をうけてくつきりと見え、砂浜では今わかめ干しの真最中：漂う潮の香にしばし佇む。まさに早春の風景。愛岳